

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.314 2020.8.31

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」 8月30日(日曜日)放送「主要会派代表者に聞く2」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様様や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、8月30日(日曜日)に放送した「主要会派代表者に聞く2」の内容をお伝えします。

こんにちは
県議会です

主要会派代表者に聞く②

☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。>>

INDEX



県議会広報

こんにちは県議会です

「主要会派代表者に聞く2」

- 埼玉民主フォーラム 田並尚明代表
- 埼玉県議会公明党議員団 西山淳次団長



県議会アラカルト

夏休み親子参加イベント「議事堂見学会と投票体験」を開催



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です「主要会派代表者に聞く2」】

〈埼玉民主フォーラム 田並尚明代表〉

北第5区 熊谷市選出

平成19年、埼玉県議会議員初当選(現在4期目)

今年5月、埼玉民主フォーラム代表に就任

代表 埼玉民主フォーラム代表の田並尚明でございます。皆さまにおかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止にご理解を頂き、数カ月にわたり不便な生活を強いられ、また、事業主の皆さまは経営上大変な思いをされていることと存じます。ご協力に改めて感謝を申し上げますとともにお詫び申し上げます次第でございます。

—新型コロナウイルス感染拡大の影響について、お考えをお聞かせください。—

代表 県民の皆さまのご理解ご協力のおかげをもちまして、一定程度感染拡大は収まりをみせましたが、残念ながら感染者は、再び増加傾向に転じてしまいました。どうかここで感染の拡大を抑え、一日も早く普段の生活を取り戻せるよう、議会としても知恵を出していかなければならないと思っています。

—会派としてどのような対応を取られたのですか。—

代表 新型コロナウイルスが流行し始めた当初から、各議員が地元や関係者の皆さまから意見を聞き、議会を通して県執行部へ要望しました。その内容は、保健所や検査の体制強化、病床確保、医療や介護現場で働く関係者への危険手当等、医療福祉をはじめ、経済や教育関係など多岐にわたり、現場の声をしっかりと届けさせていただきました。また、6月定例会においても、県執行部に対して感染拡大第二波への備えについてなどの質問をしました。

—その6月定例会が、新型コロナウイルス感染拡大の中、行われましたが、会派としてどのような体制で臨まれたのですか。—

代表 体制といえば、コロナ感染拡大、そのために現場の声を届けるという体制を組ませていただきました。本来なら大野知事の「安心・元気のスタートアップ予算」について、より具体的に議論を進めていく予定でしたが、今回は新型コロナウイルス対策を中心とした議論になりました。予算についても、感染拡大防止や検査体制の強化、医療・介護従事者等への支援、また、中小企業支援や教育の機会の確保をはじめとする、新型コロナウイルス感染拡大防止における各分野の支援で、補正予算も2件合わせて約1,592億円の補正予算が可決されました。



わが会派からは木村勇夫県議と高木真理県議が登壇して、新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立についてなど一般質問を行いました。執行部から前向きな回答がありましたので、現場の声を県政に届けることができたのではないかと考えています。

—6月定例会では、新型コロナウイルスに関する特別委員会が設置されましたね。—

代表 今回の感染症に対する知事の初動は早かったと思います。しかし、県民の皆さまの中には対応が後手に回っていると感じた方もいらっしゃるのではないかなと思います。県は、県民の生活と生命を守る責任があります。議会としてはこれまでの県執行部の取り組みを検証し、今後の対応を提案するために、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会が設置されました。わが会派からは水村篤弘議員と辻浩司議員が委員として参加いたします。

—その特別委員会では、どのような議論を期待していますか。—

代表 この特別委員会では誰が悪いとか何が悪いとかいった犯人や粗を

探すのではなく、何が問題でそれを解決するためには何を変える必要があるのか。どこに協力を求めればよいのか。そして、普段からどのような関係性を築いて情報交換をすれば良いのかなど、前向きな議論を期待しているところでございます。

—今年度、会派としてどのようなことに力を入れて取り組んでいこうとお考えですか。—

代表 災害対策をはじめとした危機管理体制を万全なものとすることは重要だと思います。令和元年東日本台風では甚大な被害を受けましたが、その経験を活かし、県と市町村で、地震や水害の時の避難計画を、感染症対策を考慮して見直す必要と考えます。



また、教育も重要だと思います。今回の感染症は教育分野に大きな影響を与えました。休校により学びの機会が失われ、児童・生徒の学力低下が懸念されます。学びの機会を守り、学力を維持していくための対策も重要だと思っております。

—今後の抱負をお聞かせください。—

代表 現在心配なのは新型コロナウイルスの更なる感染拡大です。感染者が増加したことで、再度外出自粛要請を出して、感染拡大をしっかりと止めるほうがよいのか。または、経済に影響をあたえるため、このまま様子を見るほうがよいのか、という判断は難しいと思います。県民の皆さまの生活と生命を守る事にとって、そして、埼玉経済を守る事にとって、将来的にはどちらがよいのか。対策会議でしっかりと議論する必要があります。そのための働きかけが必要だと思います。

われわれ埼玉民主フォーラムは、これからも県民の皆さまの声に耳を傾け、感染拡大防止と埼玉の元気を取り戻すために全力で働いてまいります。

[▲トップへ](#)

〈埼玉県議会公明党議員団 西山淳次団長〉

西第1区 所沢市選出

平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在6期目)

平成23年、埼玉県議会公明党議員団団長に就任

団長 埼玉県議会公明党議員団団長の西山淳次です。日ごろからわが党に対しまして、大きなご理解とご支援をいただき、まことにありがとうございます。公明党議員団は9人がしっかり団結し、良識の党として県政に貢献していきたいと思っております。何卒よろしく願いいたします。



—今年度は新型コロナウイルスへの対応に追われたと思いますが、公明党にとってはいかがでしたか。—

団長 私たち議員も外出自粛と、人との接触を減らすことを余儀なくされて、活動の大きな制約となりました。しかし、県民の皆さまが困っていることをキャッチしなければ、的確な提案もできず、職責を果たせません。そこ

で、感染防止に留意しての面談や、電話、SNSなど、さまざまな方法で状況を把握し、県執行部に対策を促すことに努力をしました。

—確かに現場の声を聴くことも簡単ではなかったでしょうね。—

団長 でも、おかげさまで、医療機関への支援や保健所の強化、苦境に陥った事業者への支援、軽症者用の宿泊施設確保、検査体制の強化などなど。多くの提案を県の対策に活かすことが出来たと考えています。加えて、私たちが力を入れたのは、各種の給付金や融資など、決まった支援策を必要な人に着実に届けることでした。相手にあわせて、具体的な支援メニューをお伝えして、時には申請を実際に手伝うなど、一人でも多くの方に支援策が届くように努力しました。



また、人と会えない中でタイムリーな情報発信が重要と考え、「埼玉県議会公明党オンラインニュース」というYouTube動画を独自に作成し、県の最新情報や公明党の取り組みを発信してきました。この動画は、企画・撮影・編集のすべてを県議団のメンバーで手作りしています。今後も続けていきますので、ぜひご覧いただければと思います。

—新型コロナウイルスはまだまだ心配な状況ですね、—

団長 全く予断を許さない状況です。いずれにしても、ワクチンや治療法が確立されていない以上、ウィズコロナの状況は続くと思わなければなりません。いざという時の医療体制を確保した上で、社会経済活動のレベルを調整する難しい舵取りです。

さらに、埼玉県だけ良ければということはありません。当然、東京都など、隣接する地域の影響を受けます。もっと言えば、日本自体が世界の国々と相互に影響を与えています。日本だけの安心・安全ありません。ある意味、新型コロナウイルスは地球全体が運命共同体であることを私たちに再認識させたように思います。

—“アフターコロナ”と言いますが、今後、いろんなことが変わっていくでしょうね。—

団長 その変化をどういう方向に向けていくかが、とても重要であると思っていますし、それが政治の大事な役割ではないでしょうか。

私は今回のコロナ禍は、経済効率のみを追い続けてきた成長至上主義への警告、地球環境すら壊しつつある人類の傲慢さに対する警告のように思えてならないんです。本来、自然の中にとどまっていたウイルスが過剰な開発によって人間社会に出てきて、甚大な影響を与えています。自戒の意味を込めて言うのですが、人類は決して万能ではない、自然の一員であり、自然に生かされているという謙虚な姿勢に立ち戻るべきです。そこから、大きく言えば、100年後、200年後、そして1000年後も、人と自然が調和して暮らしていける持続可能な社会を模索していくべきではないでしょうか。私たちは今、将来の世代、未来の地球に対する大きな責任に直面し、重大な分岐点を迎えている。そんな認識を持って、今後の県政にも臨んでいきたいと考えています。

—具体的にはどんなことに取り組まれるのですか。—

団長 新たに突飛なことをするわけではありません。やるべきことは既に芽が出ています。これらを着実に伸ばしていきたい。

持続可能という視点に立てば、温暖化防止、プラごみの削減、自然環境の保全といった環境問題は当然重要度が増します。経済



の在り方も、一極集中から地方自立型へ

層の転換を促していきたい。超高齢社会への対応も、向かうべき道は、地域社会の中で人と人とのつながりを大事にして、あらゆる資源を活かしていく。まさに地域包括ケアが正解だと思います。そして、これらの課題を統合していく理念がまさにSDGs(持続可能な開発目標)ということだと思います。

公明党はこれまでもこうした課題に積極的に取り組んできました。ますます私たちの責任は重いと考えます。頑張ってます。

<次回の放送予定>

9月6日(日曜日)午前10時～10時15分「主要会派代表者に聞く3」

【出演議員】

日本共産党埼玉県議会議員団 柳下礼子団長

[▲トップへ](#)



県議会アラカルト

このコーナーでは県議会にまつわる情報を発信しています。

【夏休み親子参加イベント「議事堂見学会と投票体験」を開催】

令和2年8月7日(金曜日)、県議会の議事堂で小学生の親子を対象とした「議事堂見学会と投票体験」を開催しました。

当日は午前の部8組18名、午後の部9組21名の方々が参加しました。参加した子どもたちは、議会展示ホールや議長室を見学したり、自分たちが生まれた年の「県議会だより」を読んだりしながら、県議会の歴史や仕組みについて楽しく学びました。



【展示ホール】



【本会議場】

議長室では田村議長からお話を伺う時間を設け、県議会の仕組みについてなど子どもたちから様々な質問があがりました。

また、埼玉県選挙管理委員会のミニ講座と模擬投票を行いました。



【議長室】



【模擬投票体験】

☆詳しくは、[県議会のホームページをご覧ください。》](#)

議事堂の花

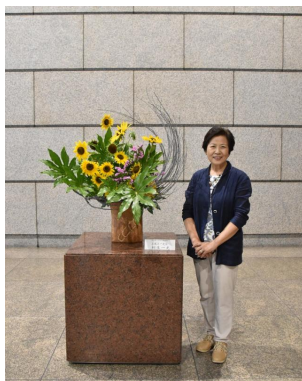
このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



- ◆展示期間
7月13日～7月17日
- ◆作者
正風流一光会 桐生一光様
- ◆花材
ヤツデ、ヒマワリ、スターチース、ムクゲ

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈正風流一光会 桐生一光様〉

Q: 夏らしさがよく伝わってくる作品です。

A: ヒマワリとスターチースのビタミンカラーに元気をもらえるでしょう。ヤツデが広がっている様子は議事堂に来る人を手を広げ歓迎しているようです。夏に合わせた明るさと元気の良さを前面に出しています。この作品を見て夏を乗り切ってください。

Q: 花びらのないヒマワリも使っていますね。

A:花びらが散ってしまったりしおれてしまったりしたものも、中心部分とがくを使い作品のアクセントとしています。意外と存在感があつて作品が引き締まります。後ろの方にはつぼみもあり、ヒマワリの一生が収まっているというのも一つの見所です。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

